

2025年度



環境経営レポート



運用期間 : 2025年4月～2026年3月

発行日 : 2026年4月30日



シコク環境ビジネス株式会社

【 目 次 】

1. 組織の概要		
(1) 名称及び代表者	P	1
(2) 所 在 地	P	1
(3) 環境管理責任者指名及び担当者連絡先	P	1
(4) 事業の規模	P	1
(5) 事業活動の概要	P	1
(6) 事業内容と許可	P	2～4
(7) 産業廃棄物積替え保管許可の概要	P	4
(8) 車両の種類と台数	P	5
2. 認証・登録の対象範囲	P	6
3. エコアクション21実施体制図	P	6
4. 環境経営方針	P	7
5. 環境経営目標	P	8～9
6. 環境経営計画	P	10
7. 環境経営目標の実績	P	11～12
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	P	13
9. 次年度の環境経営目標と計画	P	14～16
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認、及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	P	17～19
11. 代表者による全体評価と見直し・指示	P	20
12. SDGs宣言	P	21
13. 当社の活動事例	P	22～24

1.組織の概要

(1)名称及び代表者

事業所名 : シコク環境ビジネス株式会社
代表者氏名 : 代表取締役社長 吉田 歩
創立年月日 : 昭和54年7月17日
資本金 : 2,000万円

(2)所在地

本社 丸亀市垂水町5番地4
TEL:0877-28-8308 FAX:0877-28-8319
善通寺営業所 善通寺市与北町3441-30
TEL:0877-63-5575 FAX:0877-63-5611
高松営業所 高松市由良町752番地13
TEL:087-813-8622 FAX:087-813-8633
徳島営業所 徳島市応神町吉成字有天76-6
TEL:088-641-2409 FAX:088-641-2429
高知営業所 高知市一宮南町1-11-50
TEL:088-846-3223 *0120-28-8308
まんのう工場 仲多度郡まんのう町東高篠777番地
(2024年8月稼働開始、2026年より本件実施体制に加える予定)

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・環境管理責任者
取締役 顧客サービス兼ビル管理担当 山原 吉広
・連絡担当者
エコアクション21事務局 吉田 歩
溝渕 一恵
TEL:0877-28-8308 FAX:0877-28-8319
E-mail:bs.soumu@shikoku.co.jp

(4)事業の規模

・売上高(対象範囲) 819百万円 / 2025年度
・産業廃棄物処理量 75.92t / 2025年度 (収集運搬量)
・一般廃棄物処理量 4,936.94t / 2025年度 (収集運搬量)
・再生資源回収・収集量 185.81t / 2025年度
・従業員(対象範囲) 65 人
・延べ床面積 2,146 m² (車庫・倉庫は含まない。)

	本 社	善通寺	高 松	徳 島	高 知	まんのう工場
延べ床面積 m ²	574	168	83	197	60	1,064
従業員数	38	14	6	7	0	4

(2026年3月現在)

・事業年度 1月～12月
(環境経営レポートの各集計結果は4月～翌年3月間で行っています。)

(5)事業活動の概要

水処理施設の保守点検(小型浄化槽、大型浄化槽、産業廃水施設、
集落排水施設、特定施設排水処理)、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、
再生資源回収業、建設業(管工事、電気工事、土木工事、住宅リフォーム)、
ビル管理業(環境衛生総合管理業、貯水槽清掃、排水管清掃)、
毒物劇物製造業

(6)事業内容と許可

1. 一般建設業

香川県知事許可(般-3)第4964号
有効年月日 2021年12月17日から2026年12月16日
事業の範囲 管工事業、土木工事業、石工事業、造園工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、とび・土工工事業、電気工事業、舗装工事業、塗装工事業、水道施設工事業、
香川県知事許可(般-4)第4964号
有効年月日 2022年7月29日から2027年7月28日
事業の範囲 防水工事業、解体工事業

2. 一般廃棄物処理業

(1)丸亀市

丸亀市許可第6号
有効年月日 2026年4月1日から2028年3月31日
業 種 一般廃棄物収集・運搬業
事業の範囲 ・事業系一般廃棄物(ごみに限る)
・家庭系一般廃棄物(一般家庭の日常生活に伴って排出されるごみで、市が収集しないものに限る。)
・浄化槽汚泥(市が設置する公共施設、島しょ部を除く)

(2)善通寺市

善通寺市許可第4号、第5号
有効年月日 2026年4月1日から2028年3月31日
事業の範囲 ・事業系一般廃棄物(ごみに限る)
・家庭系一般廃棄物(一般家庭の日常生活に伴って排出されるごみで、市が収集しないものに限る。)
・し尿浄化槽汚泥

(3)まんのう町

まんのう町許可第4号、第19号
有効年月日 2026年4月1日から2028年3月31日
事業の範囲 ・事業系及び家庭系一般廃棄物 ・し尿浄化槽汚泥
(家庭系一般廃棄物は一般家庭の日常生活に伴って排出されるごみで、まんのう町が収集しないものに限る)

3. 産業廃棄物収集運搬業

香川県知事許可第03715052208
有効年月日 2023年11月22日から2028年3月1日
事業の範囲 積替え又は保管を含む
①燃え殻②汚泥③廃油④廃酸⑤廃アルカリ⑥廃プラスチック類
⑦紙くず⑧木くず⑨繊維くず⑩動植物性残さ⑪ゴムくず
⑫金属くず⑬ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず⑭がれき類
(ただし、これらのうち次表の左欄に掲げる産業廃棄物については、それぞれ右欄のとおり)

自動車等破砕物	含まない。
石綿含有産業廃棄物	含む。
水銀使用製品産業廃棄物	含む。
水銀含有ばいじん等	含まない。

4. 特別管理産業廃棄物収集運搬業 香川県知事許可第03755052208

有効年月日 2023年7月26日から2028年7月25日
事業の範囲 廃石綿等 (積替え又は保管を含まず)

5. 浄化槽保守点検業

- | | |
|-----------|--|
| (1)香川県 | 香川県登録第10号 |
| 有効年月日 | 2025年4月2日から2028年4月1日 |
| 営業区域 | さぬき市、東かがわ市、土庄町、三木町
小豆島町、直島町、丸亀市、坂出市、綾川町、善通寺市、宇多津町、琴平町、三豊市
多度津町、まんのう町、観音寺市 |
| (2)香川県高松市 | 高松市登録第23号 |
| 有効年月日 | 2025年4月2日から2028年4月1日 |
| 営業区域 | 高松市 |
| (3)徳島県 | 徳島県知事登録 6第54号 |
| 有効年月日 | 2024年12月25日から2027年12月24日 |
| 営業区域 | 徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、つるぎ町、三好市
東みよし町、佐那河内村、石井町、神山町
松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
勝浦町、上勝町、那賀町、牟岐町、美波町
海陽町 |
| (4)高知県 | 高知県知事登録 6第063号 |
| 有効年月日 | 2025年2月1日から2028年1月31日 |
| 営業地区 | 室戸市、東洋町、安芸市、南国市、香南市
土佐市、佐川町、須崎市、津野町、中土佐町、四万十市(旧中村市)、宿毛市 |
| (5)高知県高知市 | 高知市長登録 6第041号 |
| 有効年月日 | 2025年2月1日から2028年1月31日 |
| 営業区域 | 高知市 |

6. 浄化槽清掃業

- | | |
|----------|---------------------------|
| (1)丸亀市 | 丸亀市許可第7号 |
| 有効年月日 | 2025年6月1日から2027年5月31日 |
| 許可区域 | 丸亀市内(市が設置する公共施設、島しょ部を除く。) |
| (2)善通寺市 | 善通寺市許可第4号 |
| 有効年月日 | 2026年4月1日から2028年3月31日 |
| 許可区域 | 善通寺市全域 |
| (3)まんのう町 | まんのう町許可第25号 |
| 有効年月日 | 2026年4月1日から2028年3月31日 |
| 許可区域 | まんのう町内 |

7. 建築物飲料水貯水槽清掃業 香川県56貯第3号

有効年月日 2023年9月4日から2029年9月3日

徳島県東保04貯第8号

有効年月日 2022年11月18日から2028年11月18日

8. 建築物排水管清掃業 香川県平18排第1号

有効年月日 2024年7月10日から2030年7月9日

9. 公共下水道排水設備指定工事店

指定区域（香川県） 高松市、坂出市、丸亀市、善通寺市

さぬき市、宇多津町、綾川町、多度津町

まんのう町、琴平町、観音寺市、三木町

有効年月日 2023年4月1日から2028年3月31日

10. 指定給水装置工事事業者

香川県 第653号

有効年月日 2024年4月15日から2029年9月29日

徳島県徳島市 第291号

徳島県鳴門市 第135号

有効年月日 2024年9月30日から2029年9月29日

11. 毒物劇物製造業 香第16号

有効年月日 2024年6月5日から2029年6月4日

12. 毒物劇物一般販売業 香第100232号

有効年月日 2025年1月1日から2030年12月31日

(7)産業廃棄物積替え保管許可の概要

	NO.	設置事業所	面積 (㎡)	最大積上高 (m)	保管上限 (㎡)	産業廃棄物の種類
積替え保管施設①	1	本社	6.65	1.0	6.65	廃プラスチック類ほか
	2	本社	6.65	1.0	6.65	廃プラスチック類ほか
積替え保管施設②		本社	6.65	1	6.65	廃プラスチック類ほか
積替え保管施設③	1	本社	23.45	0.85	17.4	がれき類ほか
	2	本社	3.98	0.8	3.18	木くず
積替え保管施設④	1	善通寺(営)	6.65	1.0	6.65	廃プラスチック類ほか
	2	善通寺(営)	1.52	0.7	0.9	汚泥
	3	善通寺(営)	0.11	1.0	0.215	廃蛍光灯
	4	善通寺(営)	0.1	0.23	0.0219	廃電池
	5	善通寺(営)	0.25	0.845	0.427	廃油
	6	善通寺(営)	0.073	0.3	0.086	廃酸
	7	善通寺(営)	0.061	0.33	0.08	廃アルカリ

許可された施設の住所により①～④に区分している。

(8)車両の種類と台数

車 両 の 種 類	台 数
バキューム車(一廃)	7 台
強力吸引作業車(産廃・一廃)	1 台
塵芥車(産廃・一廃)	2 台
高圧洗浄作業車	4 台
脱着装置付コンテナ専用車(産廃・一廃)	1 台
ダンプ車	2 台
トラック(ユニック付)	1 台
トラック	2 台
軽トラック	4 台
バン(ハイエース・NV200・工事、貯水槽清掃)	5 台
バン(普)(浄化槽管理・工事用)	6 台
バン(軽四)(浄化槽管理用・工事用他)	33 台
営業車	4 台
合 計	72 台



本社



善通寺営業所



高松営業所



徳島営業所



まんのう工場(2024年8月稼働)

2.認証・登録の対象範囲

登録事業所

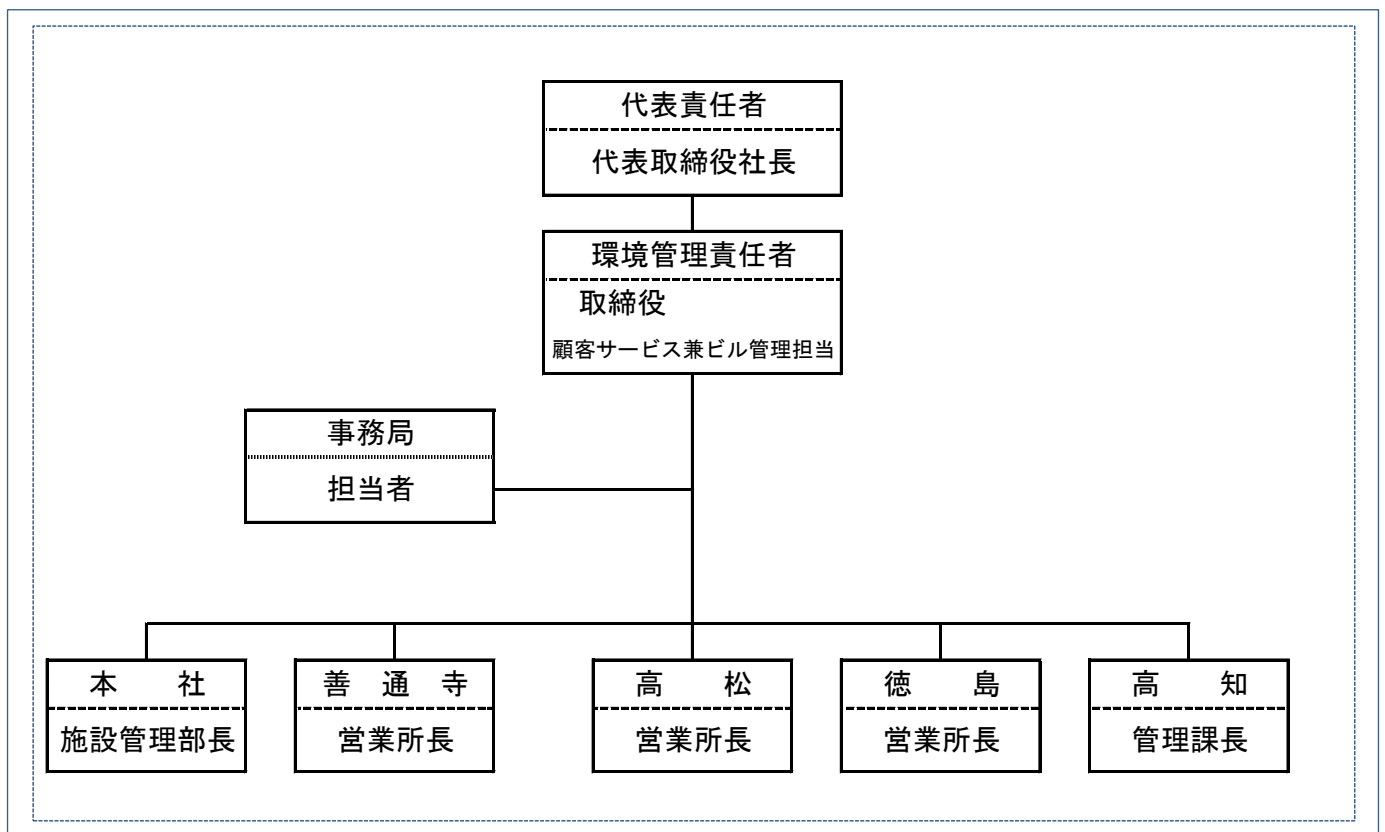
本社、善通寺営業所、徳島営業所、高松営業所、高知営業所

まんのう工場は2026年より実施体制に加える予定。

事業活動

水処理施設の保守点検(小型浄化槽、大型浄化槽、産業廃水施設、
集落排水施設、特定施設排水処理)、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、
再生資源回収業、建設業(管工事、電気工事、土木工事、住宅リフォーム)、
ビル管理業(環境衛生総合管理業、貯水槽清掃、排水管清掃)、
毒物劇物製造業

3.エコアクション21実施体制図



役割・責任・権限は内部管理文章に明記して社内でも共有しています。レポートには掲載していません。

環 境 経 営 方 針

基本理念

当社は、緑豊かな四国を事業活動領域として有し、当社のサービス活動を通じ、環境と共生しながら、地球環境の保全活動に寄与する総合的な環境管理会社を目指す。

行動指針

(1) 環境に配慮した事業活動の推進

当社は、メンテナンス業務を重点に地域社会や自然環境への影響に配慮した事業活動を推進すると共に、組織の運営体制を整備し、環境マネジメントシステムを継続的に運用・改善して環境保全活動に努める。

(2) 法規の遵守

環境関連の法規制、条例及び当社が同意したその他の要求事項などを遵守して社会の生活環境の保全に努める。

(3) 環境経営目的及び目標の設定

次の環境経営目的及び目標を設定し見直しを行う。

- ① 省エネルギー(電気、燃料使用量削減)の推進
- ② 省資源(水使用量、紙使用量削減)の推進
- ③ 廃棄物の分別、リサイクルによる削減
- ④ 化学物質(PRTR法)の記録・管理の徹底
- ⑤ 単独浄化槽の合併槽への転換
- ⑥ 産業廃棄物の収集運搬業務の効率化

(4) 環境経営方針の周知及び公表

環境経営方針を全ての従業員に周知すると共に、環境経営レポートを一般に公表します。

制定日 : 2015年 8月 1日

改訂日 : 2023年 4月 1日(第3回)

シコク環境ビジネス株式会社

代表取締役社長

吉田 歩

5.環境経営目標

○取組期間 2025年4月 ～ 2026年3月

○全社目標

項目	単位	目 標			
		2023年度実績	2024年度実績*2	2025年度目標	前期比
売上高 * 2	千円	753,822	804,289	804,289	-
二酸化炭素の削減 * 1	kg-CO2	281,427	282,890	281,476	-0.5%
売上高百万円あたりの二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	373.3	351.7	350.0	-0.5%
・電気使用量の削減 * 2	kWh	75,486	79,654	79,256	-0.5%
・ガソリン使用量の削減	L	64,631	64,036	63,716	-0.5%
・軽油使用量の削減	L	35,506	35,775	35,597	-0.5%
事務所廃棄物排出量の削減 * 3	kg	4,943	4,244	4,223	-0.5%
水使用量の削減 * 2	m3	827	802	798	-0.5%
化学物質の適正管理(接着剤・殺虫剤)		記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示
組織本来の取組①合併浄化槽への転換 * 4	基	7	9	10	11.1%
組織本来の取組②効率的な収集運搬経路 * 5	記録表	収集経路図作成	収集経路図作成	経路図の更新	-
組織本来の取組③産業廃棄物の再資源化率	%	36.2	67.3	66.7	現状並

- *1 上記の電力のCO2発生量については、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別排出係数関連ページに公表された四国電力の2019年調整後排出係数0.528 (kg-CO2/kWh) を使用しました。以後毎年の実績値も、本係数を採用して求めています。
- *2 本売上高は、2024年度の全社売上高(864,116千円) から2024年8月に稼働したまんのう工場の売上高 (59,827千円) を減じたものです。同様に電気使用量、水使用量は、まんのう工場使用分を減じています。
まんのう工場は操業開始後1年経過していません(7か月経過)ので、2026年度から目標を立案し本件取組を開始する予定です。
- *3 廃棄物排出量は、自助努力では削減困難な本来業務の収集運搬受託量、また建設工事における元請排出量の影響が大きいため、事業所内での廃棄物排出量の削減に取り組んでいます。
- *4 建設部門の組織本来の取組として、2020年度からより環境負荷削減の貢献度の高い単独浄化槽から合併浄化槽への転換基数を目標として取り組んでいます。
- *5 廃棄物収集リサイクル部門の組織本来の取組として、引続き効率的な収集運搬経路の探索、見直しに取り組めます。

○事業所ごとの目標

【本社】

項目	単位	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	施設管理部長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	177,236	170,951	170,096	
・電気使用量の削減	kWh	44,542	49,232	48,986	
・ガソリン使用量の削減	L	45,051	42,986	42,771	
・軽油使用量の削減	L	19,070	17,530	17,443	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	681	729	725	
水使用量の削減	m3	345	359	357	

【善通寺】

項目	単位	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	63,861	67,916	67,576	
・電気使用量の削減	kWh	15,479	16,921	16,836	
・ガソリン使用量の削減	L	5,722	5,129	5,104	
・軽油使用量の削減	L	16,436	18,245	18,154	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	3,934	1,935	1,925	
水使用量の削減	m3	284	337	335	

【高松】

項目	単位	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	24,863	25,342	25,215	
・電気使用量の削減	kWh	2,950	3,010	2,995	
・ガソリン使用量の削減	L	10,045	10,238	10,187	
水使用量の削減	m3	72.0	59.0	58.7	

【徳島】

項目	単位	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	20,624	18,730	18,636	
・電気使用量の削減	kWh	12,515	10,491	10,439	
・ガソリン使用量の削減	L	6,035	5,683	5,655	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	328	548	545	
水使用量の削減	m3	126	47	47	

0

【まんのう工場】

項目	単位	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	-	11,376	目標設定は 2026年度からの 予定	
・電気使用量の削減	kWh	-	21,545		
・ガソリン使用量の削減	L	-	0		
事務所廃棄物排出量の削減	kg	-	1,032		
水使用量の削減	m3	-	47		

所見欄には本年度同様年度末に各部所長が目標に対する実績、また取組結果についてコメントを述べるものとします。

6.環境経営計画

○取組期間 2025年4月 ～ 2026年3月

項	目	環境活動内容	実施責任者	スケジュール		
				4-7月	8-11月	12-3月
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	①業務中の不必要な照明は消灯する。 ②省エネルギー型の機器を購入する。 ③空調機フィルターを定期的に清掃する。	総務部長 社長 営業所所長	⇔	⇔	⇔
	ガソリン使用量の削減	①定期的に車両点検、清掃を行う。 ②走行距離・燃費の運転記録を付ける。 ③定期的にタイヤ空気圧点検を行う。 ④燃費チェックの習慣化と移動ルート等の効率化。	取締役 安全管理担当 営業所所長 総務部長	⇔	⇔	⇔
	軽油使用量の削減	①定期的に車両点検、清掃を行う。 ②走行距離・燃費の運転記録を付ける。 ③アイドリングストップを励行する。 ④燃費チェックの習慣化と移動ルート等の効率化。	取締役 安全管理担当 営業所所長 総務部長	⇔	⇔	⇔
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	①売上仕入システムの運用継続。 ②コピー用紙の裏面を再利用する。 ③紙類は、リサイクルに努める。 ④使用済み封筒を再利用する。	総務部長 廃棄物収集 リサイクル課長	⇔	⇔	⇔
	産業廃棄物の再資源化	①ゴミの分別を徹底する。 ②有価物をリサイクルする。 ③再資源化処理への搬入に努める。	廃棄物収集 リサイクル課長 営業所所長	⇔	⇔	⇔
水使用量の削減	節水	①日常的な節水を励行する。 ②蛇口付近に節水の表記を行う。 ③受水槽設備の漏水点検を行う。	総務部長 営業所所長	⇔	⇔	⇔
化学物質の適正管理 (接着剤・殺虫剤)	記録・管理・表示	①種類・使用場所の記録・管理を行う。 ②保管量・保管場所を適正管理する。 ③化学物質名の表示を行う。	取締役 安全管理担当 営業所所長	⇔	⇔	⇔
組織本来の取組	環境に配慮した取組	①単独浄化槽を合併槽へ転換する。 ②収集運搬経路の効率的な見直しを行う。 ③受託廃棄物のリサイクル率の把握と削減	施設管理部長 廃棄物収集 リサイクル課長	⇔	⇔	⇔

○社会貢献活動
毎月第3月曜朝のクリーン活動(土器川左岸道路周辺の清掃活動)に引続き精力的に取り組む。
各営業所も引続き定期的に営業所周辺の清掃活動を行う。



当社のクリーン活動に対して、2019年四国整備局長より感謝状の授与を受けました。

7.環境経営目標の実績

【短期目標実績と評価】

○取組期間
2025年4月 ～ 2026年3月

○:達成
×:未達

○全社

項目	単位	2023年度実績	2024年度実績*2	2025年度目標	2025年度実績*2	目標比	評価
売上高 * 2	千円	753,822	804,289	804,289	819,324	1.8%増	-
二酸化炭素の削減 * 1	kg-CO2	281,427	282,890	281,476	270,027	▲4.3%減	○
売上高百万円あたりの二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	373.3	351.7	350.0	329.6	▲6.0%減	○
・電気使用量の削減 * 2	kWh	75,486	79,654	79,256	74,869	▲5.5%減	○
・ガソリン使用量の削減	L	64,631	64,036	63,716	60,692	▲5.2%減	○
・軽油使用量の削減	L	35,506	35,775	35,597	34,759	▲2.3%減	○
事務所廃棄物排出量の削減 * 3	kg	4,943	4,244	4,223	4,185	▲0.9%減	○
水使用量の削減 * 2	m3	827	802	798	703	▲4.7%減	○
化学物質の適正管理(接着剤・殺虫剤)		記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示	-	○
組織本来の取組①合併浄化槽への転換 * 4	基	7	9	10	4	▲60.0%減	×
組織本来の取組②効率的な収集運搬経路 * 5	記録表	経路図の更新	経路図の更新	経路図の更新	経路図の更新	-	○
組織本来の取組③産業廃棄物の再資源化率	%	36.2	67.3	66.7	80.1	20.1%増	○

- *1 上記の電力のCO2発生量については、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別排出係数関連ページに公表された四国電力の2019年調整後排出係数0.528 (kg-CO2/kWh) を使用しました。以後毎年の実績値も、本係数を採用して求めています。
- *2 本売上高は、全社売上高から2024年8月に稼働したまんのう工場の売上高（排水処理用水処理剤の売上高）を減じたものです。同様に電気使用量、水使用量は、まんのう工場使用分を減じています。
まんのう工場は今年度12ヶ月の操業を行いましたので、2026年度から目標を立案し本件取組を開始する予定です。
- *3 廃棄物排出量は、自助努力では削減困難な本来業務の収集運搬受託量、また建設工事における元請排出量の影響が大きいため、事業所内での廃棄物排出量の削減に取り組んでいます。
- *4 建設部門の組織本来の取組として、2020年度からより環境負荷削減の貢献度の高い単独浄化槽から合併浄化槽への転換基数を目標として取り組んでいます。
- *5 廃棄物収集リサイクル部門の組織本来の取組として、引続き効率的な収集運搬経路の探索、見直しに取り組めます。

二酸化炭素の削減	売上高百万円あたりの二酸化炭素排出量は、目標比▲6.0%減、また前期比では▲6.5%減となった。前期は工場建設のための電力消費により増加したが、今期実績に有利に作用した面もあったが、売上高増の中、ガソリン、軽油使用量が減少する等、売上高のエネルギー効率は大幅に改善できた。
事務所廃棄物排出量の削減	当社の事業系一般廃棄物の発生量は、引続き順調に稼働している売上仕入システム、また新規事業の開始に伴い今年度から稼働したITシステムともにペーパーレス化に寄与しており、紙消費量は順調に減少している。
水使用量の削減	特殊車両（パッカー車、ダンパー車、バキューム車ほか）の洗車用に井戸水を活用していることや、事務所における節水についての啓蒙、また水栓等の不具合の早期の修繕が奏功したものと思われる。
化学物質の適正管理 (接着剤・殺虫剤)	現状使用している特定化学物質含有製品は、性能的に代替品の採用が困難なものである。今年度も新規採用を凍結し、採用銘柄は3銘柄としていたが、1銘柄は購入実績がなかった。受払管理は引続き支障なく行えている。
組織本来の取組	単独浄化槽の合併槽への転換工事は、社会的要請に応え顧客に対して転換を推奨しているが、本件工事に特化した同業者が安価な価格を訴求し、低品質の施工で施工数を伸ばしており、当社は競合を回避しているため今期も施工基数は伸びなかった。 事業系一般廃棄物収集先は順調に新規契約を拡大しているが、引続き安全、効率運行のための経路の見直しは、獲得の都度、細目を実施している。

○事業所ごとの実績

【本社】

項目	単位	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	評価	施設管理部長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	170,951	170,096	158,013	○	前期は4～6月の間、まんのう工場建設工事への電力供給により増加したため、本件電力使用のなかった今期は前期比で減少したものと考えられる。軽油は要員の退社によりまんのう町用バキューム車が稼働減となった影響が大きいと思われる。老朽車両は適宜廃車、新車への乗り換えを早めたことにより、全体では燃費は前期を上回った。
・電気使用量の削減	kWh	49,232	48,986	44,558	○	
・ガソリン使用量の削減	L	42,986	42,771	39,776	○	
・軽油使用量の削減	L	17,530	17,443	16,359	○	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	729	725	585	○	
水使用量の削減	m3	359	357	337	○	

【善通寺】

項目	単位	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	評価	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	67,916	67,576	65,952	○	省エネ運転の啓蒙を行ったことにより、57%の車両の燃費が改善した。また長時間不在時のエアコン電源OFFの徹底により電気使用量は減少した。水使用量は洗車用に井戸水を有効利用したことにより減量した。
・電気使用量の削減	kWh	16,921	16,836	16,731	○	
・ガソリン使用量の削減	L	5,129	5,104	5,067	○	
・軽油使用量の削減	L	18,245	18,154	17,579	○	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	1,935	1,925	3,057	×	
水使用量の削減	m3	337	335	242	○	

【高松】

項目	単位	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	評価	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	25,342	25,215	24,753	○	ジョブローテーション実施により昨年度はガソリン使用量は増加したが、移動の効率化、訪問頻度の減少、それに伴う走行距離の減少によりガソリン使用量は減少した。事務所電気使用量減は節電の意識付けによる。
・電気使用量の削減	kWh	3,010	2,995	2,870	○	
・ガソリン使用量の削減	L	10,238	10,187	10,016	○	
水使用量の削減	m3	59.0	58.7	46.0	○	

【徳島】

項目	単位	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	評価	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	18,730	18,636	21,310	×	事業活動が順調であったため、所員の活動量が増加したことによりガソリン使用量は増加した。
・電気使用量の削減	kWh	10,491	10,439	10,710	×	
・ガソリン使用量の削減	L	5,683	5,655	5,834	×	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	548	545	543	-	
水使用量の削減	m3	47	47	78	×	

【まんのう工場】

項目	単位	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	評価	営業所長所見欄
二酸化炭素の削減	kg-CO2	11,376	目標設定は2026年度からの予定	18,086	-	前期は工場建設の後、6ヶ月間の操業であったが、今期は通年操業となりエネルギー使用量は増加した。電気使用量は徳島工場のハイボルカ工場より大幅に減少、工場の構造的課題を設計面で改善したため生産のエネルギー効率が向上している。
・電気使用量の削減	kWh	21,545		34,254	-	
・ガソリン使用量の削減	L	0		0	-	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	1,032		1,774	-	
水使用量の削減	m3	47		57	-	

8.環境経営計画の取組結果とその評価

○取組期間 2025年4月 ～ 2026年3月

項 目		目 標	環境活動内容	実施責任者	4～7月	8～11月	12～3月	評価
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量の削減	75,256 (前年比-0.5%)	①業務中の不必要な照明は消灯する。 ②省エネルギー型の機器を購入する。 ③空調機フィルターを定期的に清掃する。	総務部長 社長 営業所所長	○ ○	○ 	○ × ○	△
	ガソリン使用量の削減	63,716 (前年比-0.5%)	①定期的に車両点検、清掃を行う。 ②走行距離・燃費の運転記録を付ける。 ③定期的にタイヤ空気圧点検を行う。 ④燃費チェックの習慣化と移動ルート等の効率化。	取締役 安全管理担当 営業所所長 総務部長	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○
	軽油使用量の削減	35,597 (前年比-0.5%)	①定期的に車両点検、清掃を行う。 ②走行距離・燃費の運転記録を付ける。 ③アイドリングストップを励行する。 ④燃費チェックの習慣化と移動ルート等の効率化。	取締役 安全管理担当 営業所所長 総務部長	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○
廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物の削減	4,918 (前年比-0.5%)	①売上仕入システムの運用継続。 ②コピー用紙の裏面を再利用する。 ③紙類は、リサイクルに努める。 ④使用済み封筒を再利用する。	総務部長 廃棄物収集 リサイクル課長	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○
	産業廃棄物の再資源化	分別処理	①ゴミの分別を徹底する。 ②有価物をリサイクルする。 ③再資源化処理への搬入に努める。	廃棄物収集 リサイクル課長 営業所所長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○
水使用量 の削減	節水	798 (前年比-0.5%)	①日常的な節水を励行する。 ②蛇口付近に節水の表記を行う。 ③受水槽設備の漏水点検を行う。	総務部長 営業所所長	○ ○ ○	○ 	○ 	○
化学物質の 適正管理 (接着剤・殺虫剤)	記録・管理・表示	記録・管理・表示	①種類・使用場所の記録・管理を行う。 ②保管量・保管場所を適正管理する。 ③化学物質名の表示を行う。	取締役 安全管理担当 営業所所長	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	○
組織本来の取組	環境に配慮した取組	10基 記録表 現状並	①単独浄化槽を合併槽へ転換する。 ②収集運搬経路の効率的な見直しを行う。 ③受託廃棄物のリサイクル率の把握と削減	施設管理部長 廃棄物収集 リサイクル課長	△ ○	△ ○	○ ○ 	△

評価方法 ○:計画通り実施 △:一部出来なかった ×:出来ていない

評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組内容
二酸化炭素	本年度も全車両について毎月の燃費を集計し、全社員に回覧する活動を継続した。ガソリン車は前期比▲0.09km/L、軽油車は前年比▲0.06km/Lと微減であった。軽油車は動力として燃料消費することより評価は難しいが、ガソリン車は引続き燃費の向上を目標として取り組んでゆく。事務所電気使用量は節電意識の向上により順調に減少した。	環境経営計画の活動内容は継続実施する。まんのう工場では、太陽光発電の導入だけでは費用対効果が合わないのので、高圧受電設備の投資の是非可否を検討する。
廃棄物	売上仕入システムの運用による用紙の削減効果(精算工事報告書(A4)5,966枚、購入伺(A5)2,521枚)は継続されている上に、新規事業に伴うITシステムの運用を開始し、紙消費量の増加を抑制できた。善通寺営業所では、今期も廃棄物からの紙類とペットボトルの回収率アップに取組んだが、前期を8%下回りリサイクル率の目標達成はならなかった。書類の電子化により機密文章処理量が減少傾向にある。	廃棄物を取り巻く時代背景の変化により、計数としてのリサイクル率にこだわる必要性は小さくなっている。燃やさないことによる処分費削減額と、リサイクル収入を集計し、その前期比で来期は効果を計ることとする。
水使用量	日常的な環境活動内容についての取組が奏功し、計数的は予想以上の削減効果が上がった。	引続き全社で日常的な節水活動を継続する。まんのう工場では今期水使用を把握したが、安易に削減を検討する前に、水の製品品質に及ぼす影響を調査する。
化学物質	現状使用している特定化学物質含有製品は、性能的に代替品の採用が困難なものである。今年度も新規採用を凍結し、採用銘柄は3銘柄をキープした。受払管理は支障なく行えている。	新事業では特定化学物質は使用しない。安衛法上のリスクアセスメント物質を含む製品について、代替原料への転換を進める。
組織本来の取組	単独浄化槽の合併槽への転換工事は、本件に特化した同業者との競合は回避したため施工基数は伸びなかったが、顧客に対して補助金制度、制度の目的等を説明し転換を適切に推奨することだけでも社会貢献を果たしている。廃棄物収集経路の見直しは、新規顧客は順調に増加しているため細目に実施し、安全、効率運行を達成した。	単独浄化槽の合併転換は、国、県、当社所属の業界団体の重点政策であり、施工数の係数目標にはこだわらず、顧客に対して引続き適切な啓蒙を行ってゆくことを使命としたい。廃棄物収集経路の合理化は、引続き重点課題として取組みを継続する。

9. 次年度以降の環境経営目標と環境経営計画

9-1.環境経営目標

○取組期間 2026年4月 ～ 2027年3月

○全社目標(まんのう工場除く)

項目	単位	基準年度	基準年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前期比
		2025年度 * 2	2026年度	2027年度	2028年度	
売上高 * 2	千円	819,324	813,639	829,303	878,144	-
二酸化炭素の削減 * 1	kg-CO2	264,712	263,388	262,071	260,761	0.5%減
売上高百万円あたりの二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	323.1	323.7	316.0	296.9	0.5%減
・電気使用量の削減 * 2	kWh	74,869	74,495	74,122	73,752	0.5%減
・ガソリン使用量の削減	L	60,692	60,389	60,087	59,786	0.5%減
・軽油使用量の削減	L	34,759	34,585	34,412	34,240	0.5%減
事務所廃棄物排出量の削減 * 3	kg	4,185	4,164	4,143	4,122	0.5%減
水使用量の削減 * 2	m3	703	699	696	693	0.5%減
化学物質の適正管理(接着剤・殺虫剤)		記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示
組織本来の取組①合併浄化槽への転換 * 4	基	4	5	6	8	25%増
組織本来の取組②効率的な収集運搬経路 * 5	記録表	経路図の更新	経路図の更新	経路図の更新	経路図の更新	-
組織本来の取組③産業廃棄物の再資源化率	%	80.1	80.1	80.1	80.1	現状並

○全社目標(まんのう工場含む)

項目	単位	基準年度	基準年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前期比
		2025年度 * 2	2026年度	2027年度	2028年度	
売上高 * 2	千円	1,069,983	1,060,000	1,076,606	1,132,867	-
二酸化炭素の削減 * 1	kg-CO2	280,366	278,964	277,569	276,181	0.5%減
売上高百万円あたりの二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	262.0	263.2	257.8	243.8	0.5%減
・電気使用量の削減 * 2	kWh	109,123	108,577	108,034	107,494	0.5%減
・ガソリン使用量の削減	L	60,692	60,389	60,087	59,786	0.5%減
・軽油使用量の削減	L	34,759	34,585	34,412	34,240	0.5%減
事務所廃棄物排出量の削減 * 3	kg	5,959	5,929	5,899	5,870	0.5%減
水使用量の削減 * 2	m3	760	756	752	749	0.5%減
化学物質の適正管理(接着剤・殺虫剤)		記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示	記録・管理・表示
組織本来の取組①合併浄化槽への転換 * 4	基	4	5	6	8	25%増
組織本来の取組②効率的な収集運搬経路 * 5	記録表	経路図の更新	経路図の更新	経路図の更新	経路図の更新	-
組織本来の取組③産業廃棄物の再資源化率	%	80.1	80.1	80.1	80.1	現状並

- *1 基準年度（2025年度）電力のCO2排出係数については、環境省R8.1.9公表「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別排出係数一覧ページに公表された四国電力の調整後排出係数0.457kg-CO2/kwhを使用し、CO2の排出量を計算しました。
- *2 本売上高は、全社売上高から2024年8月に稼働したまんのう工場の売上高（排水処理用水処理剤の売上高）を減じたものです。同様に電気使用量、水使用量は、まんのう工場使用分を減じています。
まんのう工場は今年度12ヶ月の操業を行いましたので、2026年度から目標を立案し本件取組を開始する予定です。
- *3 廃棄物排出量は、自助努力では削減困難な本来業務の収集運搬受託量、また建設工事における元請排出量の影響が大きい
ため、事業所内での廃棄物排出量の削減に取り組んでいます。
- *4 建設部門の組織本来の取組として、2020年度からより環境負荷削減の貢献度の高い単独浄化槽から合併浄化槽への転換基
数を目標として取り組んでいます。
- *5 廃棄物収集リサイクル部門の組織本来の取組として、引続き効率的な収集運搬経路の探索、見直しに取り組めます。

○事業所ごとの目標

【本社】

項目	単位	基準年度	基準年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前年度比0.5%減	施設管理部長所見欄
		2025年度＊2	2026年度	2027年度	2028年度	
二酸化炭素の削減	kg-CO2	154,849	154,075	153,304	152,538	
・電気使用量の削減	kWh	44,558	44,335	44,114	43,893	
・ガソリン使用量の削減	L	39,776	39,577	39,379	39,182	
・軽油使用量の削減	L	16,359	16,277	16,196	16,115	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	585	582	579	576	
水使用量の削減	m3	337	335	334	332	

【善通寺】

項目	単位	基準年度	基準年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前年度比0.5%減	営業所長所見欄
		2025年度＊2	2026年度	2027年度	2028年度	
二酸化炭素の削減	kg-CO2	64,764	64,440	64,118	63,798	
・電気使用量の削減	kWh	16,731	16,647	16,564	16,481	
・ガソリン使用量の削減	L	5,067	5,042	5,016	4,991	
・軽油使用量の削減	L	17,579	17,491	17,403	17,316	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	3,057	3,042	3,027	3,011	
水使用量の削減	m3	242	241	240	238	

【高松】

項目	単位	基準年度	基準年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前年度比0.5%減	営業所長所見欄
		2025年度＊2	2026年度	2027年度	2028年度	
二酸化炭素の削減	kg-CO2	24,549	24,426	24,304	24,183	
・電気使用量の削減	kWh	2,870	2,856	2,841	2,827	
・ガソリン使用量の削減	L	10,016	9,966	9,916	9,867	
水使用量の削減	m3	46.0	45.8	45.5	45.3	

【徳島】

項目	単位	基準年度	基準年度比0.5%減	前年度比0.5%減	前年度比0.5%減	営業所長所見欄
		2025年度＊2	2026年度	2027年度	2028年度	
二酸化炭素の削減	kg-CO2	20,549	20,447	20,344	20,243	
・電気使用量の削減	kWh	10,710	10,656	10,603	10,550	
・ガソリン使用量の削減	L	5,834	5,804	5,775	5,746	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	543	541	538	535	
水使用量の削減	m3	78	78	77	77	

【まんのう工場】

項目	単位	基準年度	2026年度	2027年度	2028年度	営業所長所見欄
		2025年度実績 (12ヶ月稼働)				
生産量	t	201.3	207.3	213.6	220.0	
二酸化炭素の削減	kg-CO2	15,654	15,576	15,498	15,420	
製品1tあたりの二酸化炭素排出量	kg-CO2/t	78	75	73	70	
・電気使用量の削減	kWh	34,254	34,083	33,912	33,743	
事務所廃棄物排出量の削減	kg	1,774	1,774	1,774	1,774	
水使用量の削減	m3	57	57	57	57	
原料からのリスクアセスメント物質の削減	銘柄数	0	2	10	25	

所見欄には本年度同様年度末に各部所長が目標に対する実績、また取組結果についてコメントを述べるものとします。

9-2.環境経営計画

○取組期間 2026年4月 ～ 2027年3月

項 目		環境活動内容	実施責任者	スケジュール		
				4-7月	8-11月	12-3月
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	①業務中の不必要な照明は消灯する。 ②省エネルギー型の機器を購入する。 ③空調機フィルターを定期的に清掃する。	総務部長 社長 営業所所長	⇔	⇔	⇔
	ガソリン使用量の削減	①定期的に車両点検、清掃を行う。 ②走行距離・燃費の運転記録を付ける。 ③定期的にタイヤ空気圧点検を行う。 ④燃費チェックの習慣化と移動ルート等の効率化。	取締役 安全管理担当 営業所所長 総務部長	⇔ ⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔ ⇔
	軽油使用量の削減	①定期的に車両点検、清掃を行う。 ②走行距離・燃費の運転記録を付ける。 ③アイドリングストップを励行する。 ④燃費チェックの習慣化と移動ルート等の効率化。	取締役 安全管理担当 営業所所長 総務部長	⇔ ⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔ ⇔
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	①売上仕入システムの運用継続。 ②コピー用紙の裏面を再利用する。 ③紙類は、リサイクルに努める。 ④使用済み封筒を再利用する。	総務部長 廃棄物収集 リサイクル課長	⇔ ⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔ ⇔
	産業廃棄物の再資源化	①ゴミの分別を徹底する。 ②有価物をリサイクルする。 ③再資源化処理への搬入に努める。	廃棄物収集 リサイクル課長 営業所所長	⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔ ⇔
水使用量の削減	節水	①日常的な節水を励行する。 ②蛇口付近に節水の表記を行う。 ③受水槽設備の漏水点検を行う。	総務部長 営業所所長	⇔ ⇔ ⇔	⇔	⇔
化学物質の適正管理 (接着剤・殺虫剤)	記録・管理・表示	①種類・使用場所の記録・管理を行う。 ②保管量・保管場所を適正管理する。 ③化学物質名の表示を行う。 ④原料からのリスクアセスメント物質の削減	取締役 安全管理担当 営業所所長 ハイボールドPJリーダー	⇔ ⇔ ⇔ ⇔	⇔ ⇔	⇔ ⇔
組織本来の取組	環境に配慮した取組	①単独浄化槽を合併槽へ転換する。 ②収集運搬経路の効率的な見直しを行う。 ③受託廃棄物のリサイクル率の把握と削減	施設管理部長 廃棄物収集 リサイクル課長	⇔ ⇔	⇔ ⇔	 ⇔ ⇔

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無
(当社に係る、主な環境法規一覧)

法規制等の名称	届出事項・対象設備等	要求事項	時 期	担当部門	遵守内容	確認
廃棄物処理法	一般廃棄物処理業	丸亀市第6号許可 善通寺市第4号許可 善通寺市第5号許可 まんのう町第4号許可 まんのう町第19号許可	2年更新	総務課	許可書	○
	自社一般廃棄物の処理	自社・委託業者	処理毎	環境管理責任者	許可書 計量票	○
	産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業(廃石綿)	香川県知事登録 第03715052208許可 第03755052208許可 マニフェストの管理 (発行・管理・県報告)	5年更新 毎年6月	総務課	許可書 原本	○
	自社産業廃棄物の処理	自社・委託業者 マニフェストの管理	処理毎 毎年6月	環境管理責任者 総務課	許可書 原本	○
浄化槽法	浄化槽保守点検業	香川県知事第10号登録 高松市第23号登録 徳島県知事6第54号登録 高知県知事6第063号登録 高知市長6第041号登録	3年更新	総務課	許可証	○
	浄化槽清掃業	丸亀市第7号許可 善通寺市第4号許可 まんのう町第25号許可	2年更新	総務課	許可証	○
	自社の浄化槽管理	保守点検 清掃 法定検査	法定回数 1回/年 1回/年	管理課 各営業所	管理票 結果表	○
毒物及び劇物 取締法	毒物劇物製造業	香第16号登録 立ち入り検査(保健所) 自主検査	5年更新 1回/年 1回/月	総務課 管理課	登録票 点検表	○
	毒物劇物一般販売業	香川県知事登録 第100232号	5年更新	総務課 ハイポルカプロジェクト	登録票	○
家電リサイクル法	使用済家電の処理	特定家庭用機器廃棄物の リサイクル(有料)処理を行う	廃棄時	善通寺(営)	管理票	○
パソコンリサイクル法	使用済パソコンの処理	メーカーによる回収・リサイ クルを行う。	廃棄時	総務課	伝票	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の処理	購入時にリサイクル料を支払う 使用済自動車は引き取り業 者に処理を依頼する	廃棄時	総務課	リサイクル券	○
グリーン購入法	自社の工事・販売に環 境物品等を選択する	環境配慮型商品の購入	購入時	総務課	請求書	○
フロン排出抑制法	フロンを使用している エアコンを管理する	簡易点検の実施、記録	四半期に 1回以上	環境管理責任者 善通寺(営)	報告書	○
化学物質排出 把握管理促進法	特定化学物質の適正な管理	排出状況の把握 性状と取扱の周知	年1回	環境管理責任者	管理表 SDS	○

* 確認欄評価記号… ○＝遵守できた。△＝一部できなかった。×＝できていない。

丸亀市環境基本条例	環境にやさしい事業所	エコリーダ丸亀登録 取組目標の達成状況報告	1回/年	環境管理責任者	報告書	○
高松市環境基本条例	自社の事業活動	事業活動に伴って生ずる公害を防止し、自然環境保全に必要な措置を講ずる。	日常	営業所所長	記録表	○
徳島市環境基本条例	自社の事業活動	事業活動に伴う公害を防止し、自然環境保全に必要な措置を講ずる。	日常	営業所所長	記録表	○
高知市環境基本条例	自社の事業活動	事業活動に伴って生ずる公害を防止し、自然環境保全に必要な措置を講ずる。	日常	営業所所長	記録表	○
建設業法	土木工事業 とび・土木工事業 石工事業 電気工事業 管工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業 塗装工事業 造園工事業 水道施設工事業	香川県知事(般—3) 第4964号許可	5年更新	顧客サービス課	許可証	○
	防水工事業 解体工事業	香川県知事(般—4) 第4964号許可				
	特例浄化槽工事業	香川県知事(届2)第268号 高知県知事(届13)第377号 徳島県知事(届14)第358号	届出事項 変更時更新	総務課	届出書	○
	建築物排水管清掃業	香川県平18排第1号	6年更新	総務課	登録書	○
ビル管理法	建築物飲料水貯水槽清掃業	香川県56貯第3号登録 徳島県東保04貯第8号登録				
	自社の貯水槽管理	設備点検・清掃・消毒	1回/年	善通寺営業所	報告書	○
公共下水道排水 設備指定工事店 規則・条例・要綱 (農業集落排水含む)	香川県高松市指定工事店	高松第229号指定	5年更新	総務課	指定証	○
	〃 坂出市指定工事店	坂出第79号指定				
	〃 丸亀市指定工事店	第31号指定				
	〃 善通寺市指定工事店	第136号指定				
	〃 さぬき市指定工事店	さぬき第73号指定				
	〃 宇多津町指定工事店	宇多津第84号指定				
	〃 綾川町指定工事店	第99号指定				
	〃 多度津町指定工事店	第206号指定				
	〃 まんのう町指定工事店	まんのう第35号指定				
	〃 琴平町指定工事店	第63号指定				
	〃 観音寺市指定工事店	第90号指定	2023年11月 2023年11月 2023年11月 2023年11月 2023年11月		休止届出書 休止届出書 休止届出書 休止届出書 休止届出書	○
	〃 三木町指定工事店	第62号指定				
	徳島県徳島市指定工事店	第141号指定				
	〃 鳴門市指定工事店	第0084号指定				
	〃 松茂町指定工事店	第62号指定				
	〃 藍住町指定工事店	第96号指定				
	〃 北島町指定工事店	第78号指定				

* 確認欄評価記号… ○＝遵守できた。 △＝一部できなかった。 ×＝できていない。

水道法 (指定給水装置 工事事業者)	香川県指定工事店 徳島県徳島市指定工事店 〃 鳴門市指定工事店	第653号指定 第291号指定 第135号指定	1回/3年 講習	総務課	事業者証	○
電気工事業者届 (一般用電気工作物)	香川県	香川県知事(届)第29-004号	年2回	総務課	届出受理 通知書	○
消防法	本社・善通寺営業所	消防設備点検の実施	年2回	総務課 営業所長	点検表	○
道路交通法	自動車台数が5台以上	安全運転管理者の選任	1回/年 講習	総務課	届出書	○
	自動車台数が20台以上	安全運転管理者・副安全 運転管理者の選任			電子記録	○
		アルコールチェック	日常			
労働安全衛生法	常時10人以上50人未満 の事業所	本社・営業所に、安全衛生推 進者を1名置く	選任時	総務課	周知 辞令	○
	化学物質管理	リスクアセスメントの実施 実施体制の確立	選任時	化学物質管理者	結果表 検診記録	○
働き方改革関連法	年次有給休暇の取得義務化	年5日以上、使用者が時期を指定して取得	3年保存	総務課	管理簿	○
改正健康増進法	職場における受動喫煙防止	屋内禁煙の実施 20歳未満の喫煙場所立入禁止 業務車両内での喫煙時の配慮	2020年 3月～	環境管理責任者	屋外喫煙場 所、標識の設 置ほか	○

* 確認欄評価記号… ○＝遵守できた。 △＝一部できなかった。 ×＝できていない。

2026年4月30日

評価の結果、関係当局よりの違反・訴訟は、過去3年間ありませんでした。

作成者 吉田 歩

11. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示

全体の取組み状況の評価		
①	環境経営目標の達成状況	二酸化炭素発生量、水使用量を大幅に削減し、事業活動に伴う環境負荷を削減する取組みに大きな成果、前進があった。
②	環境経営計画の実施及び運用結果	今期も実施体制に沿ってその役割、責任は支障なく遂行された。地道な活動を忠実にやってきたことが、目に見える成果として今期結実したものと考えられる。
③	環境関連法規等の遵守状況	環境関連法規等について、違反、訴訟も無く遵守できている。
④	外部からの環境に関する苦情・要望	特になし

見直し・指示				
①	環境経営方針の変更の必要性	無	有	＜指示事項＞
②	環境経営目標の変更の必要性	無	有	＜指示事項＞ まんのう工場は2026年から環境負荷の削減に取り組む。また安衛法のリスクアセスメント物資(有害性区分1)に該当する原料の代替原料への切替えに取り組むこととする。
③	環境経営計画変更の必要性	無	有	＜指示事項＞
④	環境経営システム変更の必要性	無	有	＜指示事項＞
⑤	実施体制変更の必要性	無	有	＜指示事項＞

総 評	今年度はこれまでの地道な活動が成果につながった一年となった。2026年度はまんのう工場を加え、引続き立案した環境経営計画を遂行し、全社で環境負荷の削減に取り組むこととする。
-----	--

2026年4月30日

シコク環境ビジネス株式会社 代表取締役社長 吉 田 歩

12. SDGs宣言

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

○SDGs宣言と取り組み○

「シコク環境ビジネス株式会社 SDGs宣言」を2022年4月1日に行いました。

当社は、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標である17のゴール・169のターゲットを統合的に解決しながら、持続可能なよりよい未来の実現に向けた取り組みを行います。



シコク環境ビジネスの重点課題とSDGs達成に向けた取り組み

「自らの環境負荷を削減するとともに環境課題の解決に貢献します」

重点課題	気候変動への対応、資源循環の促進	SDGs
1. 二酸化炭素排出量の削減 (CO2)	①電気使用量の削減に取り組みます →業務中の不必要な照明を消灯します →省エネルギー型の機器を購入します →空調機フィルターの定期清掃を行います ②ガソリン使用量の削減に取り組みます ③軽油使用量の削減 →定期的な車両点検を行います →走行距離・燃費の運転記録を付け車両を管理します →定期的にタイヤの空気圧点検を行います →アイドリングストップを励行します →燃費チェックの習慣化と移動ルート等の効率化に取り組みます	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を
2. 廃棄物排出量の削減	①一般廃棄物の削減に取り組みます →売上仕入システムの運用を継続します →コピー用紙の裏面を積極的に再利用します →紙類は、リサイクルして使用します →使用済み封筒は処分せず、再利用します ②産業廃棄物の削減に取り組みます →ゴミの分別を徹底して処分します →有価物のリサイクルに取り組みます →再資源化処理への搬入に努めます	12 つくる責任 つかう責任
3. 水総使用量の削減	①節水に取り組みます →毎日水を大切に使い、節水に取り組みます →水を使用する場所に節水の表記を行います →受水槽設備について定期的な漏水点検を行います	6 安全な水とトイレ を世界中に
4. 化学物質の適正管理	①記録・管理・表示を適切に行います →種類と使用場所をきちんと記録し、管理します →保管量と保管場所を適正に管理します →化学物質名の表示を行い、正しく管理します	3 すべての人に 健康と福祉を
5. 自らが生産、販売、提供する製品およびサービスに関する環境配慮への取り組み	①単独浄化槽から環境にやさしい合併槽への転換を進めます ②収集運搬経路の効率的な見直しを行い、環境へ配慮した収集を行います ③受託廃棄物のリサイクル率を把握し、削減に取り組みます	6 安全な水とトイレ を世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 17 パートナースhipで 目標を達成しよう

1 周辺環境との共生



地球の海の豊かさを守る活動

平成17年度に香の川パートナーシップへ加入して以降、毎月1回、土器川河川敷周辺の清掃活動を実施しています。

令和元年7月には、長年の清掃活動への取り組みに対し、四国整備局長より表彰を受けました。

ごみの回収量は、月平均70リットル用ゴミ袋2袋分。多い時には4袋にもなります。空き缶やペットボトル、弁当容器やカップなどの入れ物やタバコの吸い殻が主な回収物です。

これからも本活動を通じて、地域の環境や生態系の保全に貢献していきます。



表彰されました



沢山のゴミを回収します



ポイ捨て禁止!!

単独浄化槽から合併浄化槽への転換

2025年度は、4基の単独浄化槽を合併浄化槽に転換しました。私たちが台所や洗濯、風呂、トイレ等から流す生活排水は、川や湖沼、海の水質汚濁の原因の一つとなっています。単独浄化槽はトイレの排水だけを処理し、生活雑排水は処理していませんので、生活雑排水も併せて処理する「合併処理浄化槽」に比べてBOD（水質の汚濁を表す指標）の排出量が実に8倍にもなります。

これからも水環境を守る企業として、合併浄化槽への転換を推進していきます。



2 資源の循環



ゴミの分別とリサイクル処分

分別と資源ごみの回収などによって、廃棄物の発生を抑制し、リサイクルの向上に努めています。

混ぜればただの「ごみ」ですが、分別すれば、「ごみ」から「リサイクル資源」に生まれ変わります。

これからも、リサイクル率のアップに向けて分別に取り組むを続けていきます。



古紙再生による資源循環

消費後の雑誌や古新聞、使用済み封筒やコピー用紙などを回収し、製紙工場へ直接持ち込みます。

工場で融解処理された古紙は、原料（パルプ）と燃料（古紙に混ざっているフィルムなど）に再利用されています。



リサイクル商品の購入

FSC認証製品であるリサイクルパルプを使ったコピー用紙、トレットペーパー、ペーパータオルを使用しています。

その他、文房具などもグリーン商品を積極的に購入しています。



熱中症対策飲料をラベルレスペットボトルへ変更

熱中症対策として毎年6月～9月まで従業員へ飲み物を配布していますが、2022年～2025年とラベルレスのものを購入し、全519ケース・計12,456本のラベル削減に取り組みました。

「捨てるのが楽」「さらにエコ」な取り組みを通じてプラスチック使用量の削減やラベルの製造・廃棄にかかるエネルギー消費量、CO2排出量の削減の一助となるべく取り組みを続けていきます。



2 資源の循環



産業廃棄物収集運搬業の積替え保管 許可の取得

2023年11月に産業廃棄物収集運搬業において積替え保管許可を取得しました。

積替保管場で一時的に廃棄物を保管し、分別したり廃棄物を集めて積替えたりする作業ができるようになり、運搬の効率も上がることで、二酸化炭素の排出量削減も期待できます。

また、積替保管場での廃棄物の分別混合廃棄物を品目ごとに選別したり、廃棄物の中から鉄やアルミなどの有価物・プラスチック類などの再生利用可能物を取り出したりすることで、廃棄物の最終処分量を減らせます。

コストや作業の手間を省くだけでなく、脱炭素化にも寄与し、地球に優しい廃棄物の収集運搬が可能となりました。

2024年8月香川県初、水処理薬剤 ハイポルカ生産拠点の「まんのう工場」 が完成。 2025年1月より製造・販売スタート。

2024年8月香川県初、水処理薬剤ハイポルカ生産拠点の「まんのう工場」を新設しました。

化学薬品に頼らず、微生物の働きを利用して水をきれいにするバイオ薬剤「ハイポルカ」は、浄化速度も早く、低水温やpH5の環境下でも効果を発揮します。様々な環境条件での排水処理が可能となり、環境への負荷を軽減しながら、自然な水質浄化を実現しています。

またハイポルカは、微生物を利用する製品だけでなく、脱臭剤や消泡剤など排水処理施設の多彩なニーズに対応した、全50種類の製品を取り揃え、生活・産業排水全般の環境負荷低減に貢献しています。

2025年1月からは、薬剤メーカーとして製品の生産と全国販売を開始しました。これまでの排水処理管理や下水道施設などの建設工事・メンテナンス業に加え、環境に優しい排水処理薬剤の製造・販売による環境保全の実現が新たにスタートしました。

これからも持続可能な環境社会の構築にますます貢献していきたいと考えています。

浄化槽清掃水張時の水は 井戸水・放流水を使用しています

浄化槽汚泥を清掃する際には、水張用に多くの水を使用します。限りある水資源を大切にするため当社では、水道水の代わりに会社の井戸水や瀬戸グリーンセンターで最新の技術・設備により処理された安心安全な放流水を再利用しています。

これからも地球環境や自然環境の水資源の循環と保全に貢献していきたいと思っています。



やさしく効く、
しっかり分解。
ハイポルカ。



3 気候変動への対応



全事業所のLED化

2024年3月に徳島営業所の照明をLED化し、今年度は、本社会議室のLED化を実施し、全事業所LED化する予定です。

長寿命化や消費電力の軽減によりCO2が削減されることは、環境保護にもつながり、電気料金の節約にも期待ができます。



4 その他

3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



事故防止に貢献。自動車安全運転センター県事務所より表彰(銅賞)

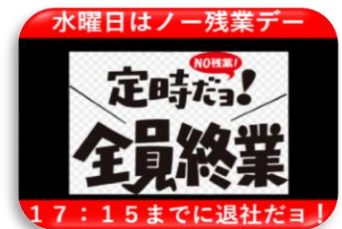
自動車運転センター県事務所と県警より、交通事故や違反件数を記録する運転記録証明書を活用し、事故防止に貢献したとして丸亀警察署において銅賞が授与されました。2024年3月、2025年3月と銅賞を連続受賞しています。(全15事業所)



2024.3.14四国新聞掲載

ノー残業デー・有給休暇一斉付与の取り組み

2020年11月より毎週水曜日をノー残業デーと定め、社員のリフレッシュと事業所消費電力の削減につなげています。また年5日有給休暇取得義務のうち、創立記念日の1日を全員が一斉に有給休暇を取得する日と決め、心とからだのリフレッシュを図っています。



4 その他

3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう

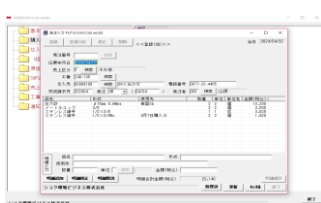


売上仕入のシステム化 ハイポルカの受注出荷売上システム化

2022年4月より、売上仕入システムの運用をスタートしました。これまで紙ベースで提出していた「精算工事報告書」や「購入伺い検収書」は、電子化により廃止されました。また、当システムは、見積作成から工事受注、仕入・外注手配、工事精算、請求書発行、承認までを電子化し、社内統一化したもので、ペーパーレスに加え、手書きによる計算ミス等の減少や書面の発行の作業効率化、損益の見える化も図られ、とても使い勝手の良いシステムとなりました。

2023年以降は、インボイス対応として請求書へ適格請求書発行番号と消費税10%対象を追加するなど、都度改修を行い、より良いものへと成長し続けています。

さらに2025年1月からスタートしたハイポルカの生産管理についてもシステム化を図り、受注から出荷、売上をシステム管理し、業務の標準化と整理が出来ています。



ストレスチェックの実施

2022年より、毎年11月に全従業員へストレスチェック(香川労働基準協会)を実施しています。前年と比較しながら、自らのストレスの程度を把握し、ストレスへの気づきを持つきっかけに、また会社は集団分析の結果を職場環境の改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって、従業員がメンタルヘルス不調となることを未然に防止する取り組みにつながっています。



アルコールチェック検知器の導入

2022年10月にクラウドのシステムと連携したアルコールチェック検知器を導入、運用を開始しています。検知器は営業所ごとに備え付け、遠隔地で業務を開始・終了する場合や早朝・深夜の運行がある場合、また、直行直帰の場合には、持ち出し用のスマホと検知器を運転者に渡し、アルコール検知を社外でも必ず実施しています。

熱中症対策ハンドブックの配布

近年の気温上昇に伴う健康被害を重要な経営リスクと捉え、気候変動への適応策として「熱中症予防」に重点を置いて活動しています。2025年6月、本格的な夏季を迎える前に、独自の「熱中症対策ハンドブック」を作成し、全従業員を対象とした勉強会を実施しました。日頃の生活習慣の確認や、体調不良時の緊急連絡フローについても再確認を行い、組織全体の安全意識を高めました。